

かけはし

113号

発行者：会長 下妻久男
編集：広報部会

発行／宇都宮保護区保護司会 〒320-0864 宇都宮市住吉町10番16号 TEL・FAX 028-633-6771 E-mail: utsunomiya@hogoshikai.jp

同じ地域の生活者であるというチカラ

宇都宮少年鑑別所 所長 向野里子



「入院中の患者が、『向野さんに会わなければ。〇〇へ行かなければ。』と騒いでいる。事情が分からず困っているのだが、どういうことだろうか。」

個人的な話で恐縮ですが、とある精神科病棟からそんな電話

を受けた20年近く前の日のことを、私は、今も鮮明に覚えています。その患者Aさんは、4号保護観察対象者の方で、当時の私は、某保護観察所で地区主任官をしていました。念願だった保護観察所への人事交流がかない、意気揚々、新人保護観察官として半年になろうかという頃でした。

冒頭のAさんは複数の精神疾患を抱えており、凶悪重大犯罪を犯しています。記録を見ても本人に会っても、はっきりと「処遇に苦慮しそうな人」でした。私は、浅はかにも、こんな大変な人を担当したい保護司さんはいないだろうし、とても困難なはずだから、いったん主任官直接担当とするのが良いだろうなどと、偉そうなことを思っていました。そして、定期駐在場所での数回の面接を重ね、次回は〇月〇日にこの場所でまた元気に会いましょうと約束した後、Aさんは症状悪化で精神科閉鎖病棟に入院、約束の日が近づくにつれ、病棟で、外出したいと騒ぎ始めたというのが、冒頭の出来事というわけです。

Aさんの症状悪化や入院を速やかに把握できなかった

こと、Aさんと同居する高齢の母から連絡をもらえる関係を築けなかったこと、そんなことを悔い、猛省する中で、対象者の方と同じコミュニティに生活者として暮らし、日頃から様々なネットワークを構築している保護司さん方の存在の大きさを思い知りました。そして、Aさんの退院後、すぐに方針を改め、経験豊富なベテラン保護司Xさんに、事情と経緯を正直に伝えてAさん担当をお願いしました。二つ返事で引き受けてくださったXさんは、買い物や散歩のついでと云ってはAさん宅に寄り、Aさんの顔を見、洗濯物を干すAさんの母に「よい天気ですね。」と声を掛け、あっという間に母子と良好な関係を構築し、指導を浸透させていきました。若かりし私の、思い出すたびに赤面する、ほろ苦く、忘れられない学びの経験です。

世界に誇る我が国の保護司制度について、今、かつてなく、議論と変革のときを迎えていると承知しています。不安と期待を含めた様々な思いを抱えて困惑している方もおられるかもしれません。きれいごとでは済まないという意見もあるでしょう。それでも、私は、地域に根を張り活動される保護司の方の、目に見えず、数字に表れない、偉大な力を骨身に染みて知っている一人です。皆さんが安心して活動できるような環境作りと後方支援を、少年鑑別所の立場から、考え、実行していきたいと考えています。

私が矯正に戻った後、Aさんも無事に期間満了を迎えたと、風の便りに聞きました。

日時計

男やもめの一人暮らしは、何もしないしていると、早くボケてしまうと言われたが、幸か不幸か私には毎日やることがあった▼元農家で田はすべて委託してしまっているが、家の敷地内には畑があり、冬以外、除草・野菜の管理などの仕事は毎日ある。秋冬には庭木の剪定に精を出している▼仕事は早朝一〜二時間しか行わない。それ以上やってしまうと、次の日から体が痛くて仕事にならないからである▼ところで私は、糖尿・臍臓・前立腺と毎月通院しているが、ドクターの勧めもあって、十数年前からフィットネスに通っている。連日、エアロビクス・ピラティスなどのレッスンに参加し、また木曜にはテニス、金土には卓球とドクター推奨の有酸素運動を実践し、汗を流している▼現在、保護司会合唱団に所属し、月二回声をしっかり出している。また昨年からは分区長を仰せつかり、何とか任務をこなしている(勿論、分区のみなさんの協力があったことではあるが…)▼現在、毎日の生活の中でボケ防止を意識し「今日やることがある」「今日会う人がいる」などに心がけ、なるべくみなさんに迷惑をかけないですむよう、明るく楽しく元気に生活していきたいと思っている。

特集

第74回「社会を明るくする運動」

— 犯罪や非行を防止し立ち直りを支える地域のチカラ —

各分区の取り組み

中央分区

日時：6月26日(水)
会場：宇都宮市立旭中学校体育館
テーマ：SNS講座

参加者：生徒・教職員・保護者 602人

中央分区では、昨年に引き続き株式会社スキットの小針佳子氏を講師に招き、旭中学校生を対象に「デジタル世代のための情報モラル」をテーマに講演会を開催した。

小針氏は、夏休みに入る今の時期にSNSについて勉強することは大切なことと前置きして講演を始めた。

ネットの危険性は、文字だけのコミュニケーションなので、その時の気持ちで相手に正確に伝わらないことがある。自分と友達とは感じ方が違う。みんなも書いているし匿名だからと軽い気持ちで書き込んではいけない。

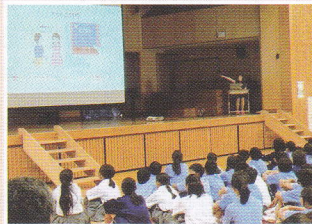
一歩まちがえれば、ネットの書き込みも大きな罪になってしまうので、①不確かな情報やうわさ話は書き込まない ②問題のある書き込みはすみやかに削除 ③ネットだけではなく会って話す ④困ったら先生や家族に相談することが大切だと力説された。

スマホばかりに頼らず会ってコミュニケーションをとることが必要だし、使いすぎて身体の調子が悪くなったり、ストレスがたまりイライラしたり、集中できなくなったら要注意だと、生徒たちにチェックリストを示しながら話された。生徒は、よく講師の話に耳を傾け、「となりの人と話し合っ」「やめ」という指示に節度ある態度で話し合いができており好感が持てた。

講演終了後、社明グッズをクラスごとに配布した。

最後に校長先生が、「学校は、集団生活の中で教科だけでなく大切なルールを勉強し生活していくところ」今日の話から社会を明るくできるような生徒に育ててほしいとしめくくられた。

本日の司会進行も生徒が自ラ行い、集会ができたことに感謝しつつ閉会となった。



陽南分区

陽南分区ではコロナの問題も下火になり、7月15日に分区でグッズを準備。話し合いで、お祭りの際に配布する事が一番よいのではということで、7月13日に砂田のお祭り、7月27日に陽光のお祭り... 担当者を決めて配りました。お祭り日和ということもあり、お祭りに来ていた人たちに、うちは大変喜ばれ、あつという間に配り終わりました。

他に担当する研修会で保護司の仕事を説明してもらいグッズを受け取ってもらいました。賛同も受け、より良い時間を持てました。



西部分区

当分区は、ひとりの新任保護司を迎え、10人体制となりました。

各メンバーが、自治会への配布や姿川地区市民センターに社明グッズを置いていただくなど実施いたしました。皆さんに活動をさらに理解していただくため地域イベントへの参加をとおして周知しているところです。

東部分区

7月14日(日)
グッズ袋詰め(510個)
各地区小学校・中学校や、各地区夏祭り等に配布しました。



陽西分区

6月5日(水)14時より、細谷コミセンにて、社明グッズの仕分けと配布を分区員10人で行いました。

各小学校区域の環境点検参加者に、うちわ・リーフレット・ティッシュを手渡しで配りました。

陽東分区

6月27日(木)には、峰小学校と峰・御幸・御幸が原・陽東・泉が丘の各コミセンへ、社明パネル、ポスター、リーフレット等を配布。社明運動への理解と協力をお願いした。

7月10日(水)には、泉が丘中、12日に陽東中と鬼怒中、19日に御幸小を訪問して、ポスター、リーフレット、クリアファイル、ポケットティッシュ等を届け、校長先生や副校長先生と懇談し、作文コンテストへの参加もお願いした。

陽北分区

令和6年7月17日(水)、宇都宮市今泉、八坂神社境内付近において、陽北分区10人の参加で実施した。

当日は例年開催される八坂神社のお祭りで、多数の見学者が予想されたことから、分区員10人が神社社務所に16時に集合し、当日の配布物である「うちわ、ティッシュ、耳かき、リーフレット」の袋詰めを行い、その後全員で見学者に手渡した。

当日、配布直前からたたきつけるような雨と雷の天候となり、いったん中断したものの、止む気配がなかったため、資料の配布を終了した。

南部分区

◇6月28日(金)

社明グッズの袋詰め

雀宮地区市民センターにおいて、地区別定例研修に引き続き、グッズの袋詰めを行いました。今回は中身がよく分かるように透明の袋を使用しました。また、菓子類を何種類か用意してみました。とても魅力あるグッズ類になったと思います。袋詰めには、沖保護観察官も自主的に参加してくださいました。ありがとうございました。



◇7月10日(水) 社明街頭広報活動

JR雀宮駅で東口と西口に別れ、15時からグッズを配布しながら、社明の広報活動を行いました。乗降客だけでなく、バス・タクシーや送迎の車の運転手さん、近くの施設にいる方たちにも積極的に配布しました。東口は多くの高校生が利用することもあり、何人かの生徒さんと話をするこもでき有意義な広報活動になったと思います。

北部分区

「社会を明るくする運動」の活動の一環として、7月6日(土)にヨークベニマル細谷町店前にてPRグッズ配布を行いました。夕方4時からの買い物客が多い時間帯で実施したことにより、予定時間より早くPRグッズがなくなりました。



私たちの活動が少しでも社会を明るくする一助になれば幸いです。

河内分区

河内分区は、社明活動の他に更生保護女性会と毎年恒例のじゃがいも掘りを7月7日(日)竹田裕幸統括と沖里穂保護観察官を招いて、(今年は昨年と比べ若干不作でした)実施し、その後新人紹介と互いの現況報告、確認等の茶話会を行い、解散後は江連宅の大きな蓮池畑を見学させていただきました。



オリオンスクエア市民の集い

7/13 (土) オリオンスクエア

第74回「社会を明るくする運動」の一環として市民の集いが開催されました。マーチングバンドの演奏や子どもたちの作文発表が行われ、社明グッズの配布も行いました。横断幕をもっての呼びかけに、多くの市民が足を止めてくださいました。



市役所でのパネル展

7/1 (月) ~ 7/4 (木) 市役所一階市民ホール

市民に保護司の活動を知ってもらうため、パネル展を開催しました。

「社会を明るくする運動」についての周知をはじめ、「更生保護」ということへの理解をしていただく展示を行いました。多くの方に見ていただけたと思います。



いきいきフェスタ in 佐野

7/20 (土) 佐野市葛生あくとプラザ大ホール

非常に暑い日でしたが、県内から多くの保護司が集まり、会場はほぼ満席の状況でした。オープニングは佐野市立南中吹奏楽部の演奏で始まり、次に開会行事、アトラクションと続きました。

県民の歌では「さのまるくん」と「とちまるくん」の共演があり、会場はなごやかな雰囲気に包まれました。佐野保護区保護司会の活動報告では中学生との交流会の紹介があり、大変参考になりました。



保護司活動の Q&A

— 大津の事件を教訓に、改めて保護司の安心とは？ —

今年の5月、大津市内で保護司が保護観察対象者に殺害されるという衝撃的な事件が起きたことは記憶に新しいことだと思います。亡くなった保護司と対象者の間にどのようなことがあったのかは残念ながら定かではありません。我々保護司としては、単に亡くなった保護司の冥福を祈るだけではなく、我々の現在の状況を再度振り返り、二度とこのような不幸な事件を起こしてはならないと考えます。

事件直後に何人かのベテランの保護司が安全面をはじめ、普段から疑問に思っていることを話していました。今回の特集は、改めて事件から想起される保護司の疑問について取り上げ、保護観察所からアドバイスを受け、今後の活動に反映していけるようにしたいと思います。



保護司の疑問に答えていただきました

回答者 宇都宮保護観察所 企画調整課長 大宮 巧

Q 保護観察では、保護司にどのようなことを期待しているのか？

A 保護観察は、保護観察対象者の特性、とるべき措置の内容などを勘案し、保護観察官又は保護司に行わせるものとされています。これは、保護司と保護観察官が協働することで、保護観察官の持つ専門性と、民間ボランティアである保護司が持つ地域性・民間性が組み合わさり、保護観察の実効性が高まるとされているからです。

地域から選ばれた保護司の皆様は、地域のことを熟知されており、保護観察所では、対象者を地域コミュニティに溶け込ませる「架け橋」になっていただくことを期待しています。保護司の皆様は、対象者には同じ地域に住む人として相談のしやすさがあり、保護観察官では真似ができないことだと考えています。

Q 保護観察所では、対象者のどこに着目し担当保護司を決めているのか？

A 対象者が抱える事情はそれぞれ違いますが、更生につながる本人の強みや改善すべき課題に着目しています。保護観察の基本は面接のため、面接場所や生活圏といった物理的な面を優先することも多いですが、対象者の性別や年齢、性格等を考慮し、関係作りにおいて注意すべき点を情報共有させていただいた上で、御相談させていただきながら担当保護司を指名しています。

また、複数の保護司を担当保護司として指名（複数指名）することがあります。これまで新任保護司（保護司に委嘱されて4年未満）の育成という観点から、当該保護司に事件担当を依頼する際、複数指名を行っていましたが、本年7月から、事件の担当を依頼する際、原則全ての保護司から複数指名の希望を確認し、複数指名を希望される方には複数指名を行っていません。

Q 対象者との面接で配慮や注意をすべきことはどのようなことか？

A 相手は対象者である前に一人の人間であることを意識し、焦らず信頼関係の構築を目指します。相手を尊重しつつも、指導すべきことは指導するというメリハリの利いた関係性を保つことが肝要です。なお、秘密は守られるという大前提があるからこそ、相手は話しにくい事情でも相談できるのだという点を忘れず、常に守秘義務を念頭に置きながら、対象者と向き合うことを意識してください。自宅で面接する場合は、対象者の同意が得られないときは面接場所には担当保護司と本人のみとし、対象者が安心して会話できるよう努めてください。

対象者との面接では、話し上手よりも聞き上手になり（傾聴、受容）、相手が話しやすい雰囲気作りに努め

るとともに、相手の能力に合わせた対応（分かりやすい言葉遣い、抽象的な質問は避ける、言葉の打ち返し等）を心掛ける必要があります。

例えば、対象者が精神的な障害を持っているような場合は、他者とのコミュニケーションが取りづらかったり、難しい言葉や抽象的な表現は理解できなかつたりすることが多いため、彼等への指示や指導は明確に分かりやすく行う必要があります。本人の障害の特性をよく理解し、家族等とも連絡を取り合いながら、本人の病状や通院・服薬の状況、生活状況の変化等に気を配ることも必要です。

また、対象者が異性の場合は、相手の年齢や人柄、信頼関係の度合いにもより、一概には言えませんが、異性の対象者と二人きりの面接は避けた方が良い場合もあります。対象者宅を往訪する際は、対象者の家族に同席してもらい、主任官が同行する、保護観察所に保護司の複数指名を依頼するなどの対応が考えられます。

面接による指導や助言を重ねても、対象者の生活や行動に改善の傾向が見られない場合は、主任官に相談してください。もし、対象者とトラブルになった場合は、トラブルの内容にもよりますが、その場では「保護観察所に確認又は相談する」と対象者に伝えてやり取りを終え、速やかに主任官に連絡を入れ、その後の対応について御相談ください。

夜間・休日など閉庁日は、本年6月1日発行の「とちぎ更生保護」第150号でお知らせしている緊急連絡先に御連絡ください。

Q 保護司の活動で事故にあったり、けがをしたりしたときに、補償はあるのか。

A 保護司は、非常勤ですが一般職の国家公務員ですので、公務災害補償制度（民間企業でいうところの労災保険）の適用があります。

もちろん、けが等無く活動いただくのが一番ですが、保護司としての活動中に事故やけが等があり、それが公務災害として認定された場合は、療養費（病院代）の補償などが受けられます。また、全国保護司連盟の規程による見舞金の制度もありますので、事故、けが等があった場合には、速やかに保護観察所まで御連絡ください。

今回の事件は、現在（執筆時点）も捜査中であり、事件の真相は解明していませんが、保護観察所では、保護司の皆様からお気持ちをお伺いし、少しでも不安を軽減すべく、現在、地方公共団体だけでなく、JA、寺院や神社など様々な地域の関係機関・団体に協力を求め、自宅以外の面接場所を確保するなど、保護司の皆様が安心して活動していただけるよう、最善を尽くしてまいります。引き続き、御理解、御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

保護司は、明治期に実業家・金原明善ら篤志家が設立した「静岡県出獄人保護会社」が原点と言われ、崇高な社会貢献の精神が根底にあるがゆえに、非常勤の国家公務員といえども給料はない。全国で約4万6500人の保護司がいる。（5/26読売新聞より）

現在、連綿と引き継がれた奉仕の精神をもって多くの保護司が活動を行っている。しかしこの令和の複雑多岐にわたる社会の構造にあつては、奉仕の精神に頼っているだけでは事の解決は難しいように思う。さらに高齢化や成り手不足の問題も追い打ちをかけている。対象者の限られた情報だけでは、対象者の理解が十分とは言えず、また我々保護司の研修の場も確保できていない状況がある。保護司の負担は大きくなっている。医師や教師などは免許が必要であるが、保護司には特に資格は必要でないし試験が行われるわけでもない。今の時期、篤志家であれば務まる仕事なのだろうか。時代に合った制度に変えていく必要があるように思う。

現在、法務省を中心に待遇改善や人材確保について検討がされている。これからも引き続きいろいろな場で活発な議論が展開され、保護司が安全安心に活動できるようになれば幸いである。

<速報>法務省は2025年度予算の概算要求で、国の保護観察官を134人増やすように求めている。今回の大津の事件を受けた措置らしい。その他保護司の安全対策関連予算として23億3400万円を盛り込んでいる。



南部分区 ^{かねだ} **金田** ^{ひさこ} **久子さん**

金田さんとは、20年以上のお付き合いです。2人でのランチは、今回初めて。向かった先はイタリアンレストラン？ とってもリーズナブルな値段にお互い顔を見合わせびっくり。楽しい女子会となりました。

まずはご家族の紹介から。理解・協力してくださるご主人と元気いっぱいのお義母さん、そしておばあちゃん思いの優しい息子さんと娘さん。生活のリズムが、それぞれ違う皆の中心でまとめるのが金田さん。

妻・母・嫁としての役目を、なかなか真似できませんね。凄いです。休日は、ご主人と一緒にドライブ。そして、お蕎麦の食べ歩き。県内口コミを調べては、どこへでも。仲の良さにごちそう様です。

2019年10月保護司の委嘱を受け、すぐにコロナの世の中に。現在は、いろいろな行事に積極的に参加され、先輩方に質問し、指導を受けながら、更生活動に奮闘されています。地域での活動は、子ども達に関わる、青少年育成会そして、小学校の放課後こども教室の指導員さんとして元気な子ども達と遊びながら、パワーをもらっていると、『楽しい』の一言。その笑顔で、お話して下さいました。

何を頼んでも「ハイ」と言ってくれる金田さんは、私たちの分区にとっても大切な仲間です。ありがとう。そして、その優しさとおバカリティで、これからもご活躍されますことを願っています。「お互い健康には気をつけて、これからもよろしくね。」とデザートも食べて、おなかもいっぱい、ごちそう様でした。

〈インタビューー 青木由希子〉



西部分区 ^{うすば} **薄羽** ^{まさあき} **正明さん**

薄羽さんは、3月まで県立学校に勤務されていましたが、在職中から下妻会長からの誘いもあり、保護司に関心を持たれ今年の5月に保護司の委嘱を受けました。

36年前に宇都宮工業高校の教員としてスタートし、宇都宮工業高校で14年間、クラス担任と剣道部顧問の業務に熱心に取り組まれたそうです。その後那須清峰高校に異動し、そこで10年間は、生徒とともにロボット製作に熱心に取り組む、ロボコンの全国大会へも出場したそうです。そこまでの24年間の教員生活は特に充実した期間だったようです。その後は真岡工業高校、足利工業高校に勤務し、最後は、那須清峰高校の校長、そして宇都宮工業高校の校長をされました。思い出深い学校の校長として勤務することができたことは幸せであったそうです。

現在は、宇都宮メディア・アーツ専門学校で校長のお仕事をされています。県内の高等学校を訪問したり、先生方からの相談を受けたりと大忙しの様です。

ご家庭においては、現在は奥様と2人暮らしで、5年前から山歩きをはじめたそうで、日光や那須などの県内の山を中心に登り、自然の美しさを楽しんでいるようです。また、「有機・無農薬野菜づくり」、「自家採種した種での苗づくり」、「無肥料・無耕作の野菜づくり」など、こだわりの野菜づくりにも挑戦しているようです。

〈インタビューー 小林 綱芳〉



保護司日記

喜びと辛さ

【〇月〇日】 初回面接で、対象者宅を訪問。玄関からリビングと整理整頓され、男の一人暮らしとは思えない。この対象者とは月3回の面接を義務付けられていたが、時間に遅れることは一度もなかった。

【〇月〇日】 面接時間に遅延し、開口一番「早く終了して、駅まで送って下さい。」と来た。「何を？」という気持ちを腹に納めて駅まで送る。(少年A)

【〇月〇日】 面接日に来ない。父親から連絡があり、「交通事故で病院に運ばれたが、意識不明の重体。」とのこと。

2ヶ月後退院も右半身が不自由となる。それから自宅訪問を一年間行い、観察期間を終了する。(少年A)

【〇月〇日】 県外から転居してきた少年B。早朝、警察から保護した少年が本職の名前を出しているとのこと。即、警察を訪問。少年は居住先で居づらくなり家出、深夜徘徊で保護された。家族に連絡。少年は自宅に戻り、観察打ち切りとなる。(少年B)

【〇月〇日】 第2回目の面接日に来ない。連絡しても応答なし。数日後、地元新聞の社会面で喧嘩した少年が逮捕との記事。「まさか!」と思い観察所に連絡、数時

間後、該当記事は「少年C」であることが判明。面接1回で観察終了となる。(少年C)

【〇月〇日】 酷暑が続く9月初旬。4年間の観察期間満了日前日、対象者に長期間の自省を誉め、激励の言葉をかけて最後の面接を終了した。保護司として任務を全うした達成感と喜びが湧いてくる瞬間である。

〈陽北分区 A・H〉



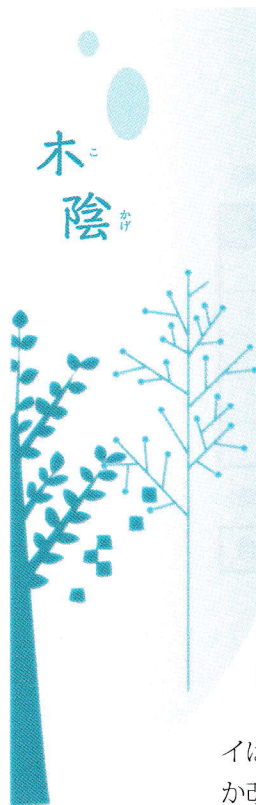
あるクジラの同窓会

陽東分区 齋藤正光

一昨年の同窓会の時でした。T氏は厚い資料を参加者全員に配り説明し始めました。どこを説明しているのか、よく判らないまま展開していき、聞いているうちに、何となく面白くなってきたのは、捕鯨船の新母船建造、その竣工式、鯨肉の保険的機能性による付加価値向上、鯨肉の美味しさと価格の優等生等の話で、知らず知らずいつしか話に引き込まれていました。

T氏は、私の一年後輩でラグビー部に所属したラグーマンですが、進水なったばかりの捕鯨母船、関鯨丸の他に三隻の捕鯨船を有する共同船舶代表に4年前就任しました。彼は以前から「くじら改善プロジェクト(KKP)」の役割を担い「鯨肉の品質向上」に尽力しています。「冷凍しない生鯨肉の提供」では、凍結しない鯨肉を殺菌水洗浄後、脱気包装し乾燥酸化を防ぎ、消費者の元に届く冷蔵システムを開拓したとの事でした。

彼の話によると、回遊鯨の多くは、1年の半分を餌場である高緯度の冷たい海で過ごし、残り半年は繁殖のためエサ場から数千キロも離れた暖かい海へ移動し、殆ど餌をとらずに子育てをします。鯨は非常に長生きで、半年も絶食状態で出産、そのまま数千kmも不眠で泳ぎ続ける驚異的なパワーを持っています。それは、鯨特有の成分バレニンをはじめ、アンセリン、カルノシンの3種類のイミダゾールジペプチドの働きだと考えられます。これは、マグロ等の回遊魚や渡り鳥等長時間連続した運



動をする動物に多く含まれていますが、抗疲労効果ありといわれる食品成分の中でも、特に鯨肉の効果が実証されています。T氏の話聞きながらお酒すすみ、和やかな楽しい同窓会となりました。

会える人には、今会おう

北部分区 荒井賢治

令和6年9月26日、出張先でなった携帯電話「キリンのメイがお産に失敗して死んだ」まさかの報告。沢山の子ども達を産み育てた彼女との出会いは2002年5月、アメリカのライオンサファリパークにいたキリンの群れの中で一番先に近寄ってきた彼女を選んだ飼育課長。あれから22年、四葉のクローバーに似ている彼女の頬の模様から縁結びのお守りを作ったことなどいろいろ思い出を頂きました。

分かっています命あるものに100%やって来る死、うまく生めなかった前回の出産の時に過ぎた花子の最後の出産の悪い予感が当たってしまった。もう二度と立ち上がれない彼女に飼育員たちは「疲れちゃうからもう頑張らなくていいぞ」「怪我をするからじっとしてな」まるでこれから治療をして回復させる子に話しかけていたそうです。花子の時と同じように感じたメイは生きたいのだと。宇都宮動物園で過ごした彼女は最後にありがとうと言ってもらえたのか、大事なものを亡くした時に思う命の大切さ。生きたいと願う命を大切にしていれば良かったのかと。

「死にたいと思う動物たちはいない」動物と係る我々にメイはたった一つの命を繋ぐことがどれだけ大変な仕事なのか改めて教えてくれたような気がします。

A子との出会い

本当は埋められぬ穴あるのだろう
明るく話す君の心に

【〇月〇日】 A子と初めて出会ったのは真夏のコーヒージュップだった。席に着くとすぐに、「私困ってるんです、早く働きたいんです!」と言った。その前に住む所を探すのが先だろう。刑務所を仮出所してきたA子は、事情があり家を探さなければならなかった。

【〇月〇日】 知り合いの不動産屋さんで電話で相談すると、翌日にはアパートが決まり、更に生活保護の申請や生活用品

の買い物までつき添っていただいた。

数日後には就活を始められるようになった。市役所の就労支援の方に面接の受け方まで教えていただいた。何もかも私一人ではこんなに早く動けなかった。改めてネットワークの大切さを痛感した。

私は初めての面接にも付き添い、一緒にお昼を食べながらA子の話に耳を傾けた。A子はこれまでのことを機関銃のように早口でしゃべった。電話にはなかなか出ないが、ラインではすぐに返事が来る。ラインでのやりとりをしながら、少しずつA子の信頼を得られていく感覚があった。

【〇月〇日】 A子は生まれてすぐ産院の

前に捨てられていたようだ。乳児院と養護施設で育てられた。

3年前に失業しお金がなくなり、ネットで見つけたバイトが詐欺の受け子だった。2年以上も服役してきたが、贖罪の課題をやっている、あまり罪の意識を感じていない様子。友達の名前はたくさん挙げるが、「この中で一番信頼できる子は?」と聞くと、「いません」と言った。「そうなんだ?」、私はA子の頭を静かになでた。

【〇月〇日】 残り3週間ほどで26歳の誕生日と刑期満了を迎える。最後の課題、A子よ、幸せになりなさい。

〈陽南分区 B・M〉

第2期研修

◀ 合同研修会 ▶

- ・令和6年9月3日(火) 13:30~15:00
- ・場所 宇都宮市役所14階
- ・講師 <保護観察官> 大石讓太氏
- ・テーマ 高齢者又は障害のある対象者の処遇について
- ・参加者 113人



- ・令和6年11月7日(木) 13:30~15:30
- ・場所 宇都宮市男女共同参画推進センター 大集会室
- ・講師 栃木DARC代表理事 栗坪千明氏
栃木DARC施設長 大吉 努氏
- ・テーマ 「依存症とダルクの回復支援」
- ・参加者 保護司会 48人 更生保護女性会 45人
計93人

薬物依存の現状や、今後の傾向について講演いただき、最後に実体験の話から回復支援の取り組みの大切さを感じることができた。



【退任保護司】 令和6年度後期 (敬称略)

| 氏名 | 分区 | 就任年月日 | 在任期間 |
|-------|-----|-----------|------|
| 高橋 堅三 | 陽 東 | H18.11. 5 | 18年 |
| 古川 道男 | 南 部 | H22.11. 5 | 14年 |
| 相良 栄 | 南 部 | H26.10.15 | 10年 |
| 高橋 孝夫 | 南 部 | H30.10.15 | 6年 |
| 根岸 幸二 | 北 部 | H16.11. 5 | 20年 |

令和6年6月30日退任 (敬称略)

| | | | |
|-------|-----|-----------|-------|
| 廣瀬 隆人 | 陽 北 | R 3. 5.25 | 3年5ヶ月 |
|-------|-----|-----------|-------|

長い間お疲れ様でした

【特例再任保護司】 (令和6年10月15日付) (敬称略)

| 氏名 | 分区 | 部会 |
|--------|------|------|
| 大日向 照和 | 北部分区 | 研修部会 |

「お知らせ」
 第75回「社会を明るくする運動」
 栃木県いきいきフェスタinうつのみや
 ・期日 令和7年7月19日(土) 午後1時
 ・会場 宇都宮市文化会館 小ホール

想う、
 ときには足をとめ。
 私たちの「待つ時間」は
 まじと誰かの「まわって行く時間」
 犯罪や非行を防止し、立ち寄りを支える地域の手から
第74回 社会を明るくする運動
 7月1日~10日 栃木県内全県民会館等で開催
 主催：栃木県警察本部 協賛：栃木県庁

新任保護司 令和6年10月15日付

アンケート内容
 ①趣味・特技 ②好きな言葉 ③抱負



あ く つ ゆういち
阿久津 雄一

陽東分区
研修部会

- ①アウトドア、スキー
- ②深沈厚重
- ③社会奉仕の精神をもって精一杯努めさせていただきます。



さ か い り け い た
坂入 啓太

南部分区
研修部会

洋画『いまを生きる』より、好きな言葉は「カルペ・ディエム」今、この時が幸せと感じられる地域づくりに寄与できるよう、福祉経験を活かして尽力いたします。



い と う す す む
伊藤 奨

南部分区
総務部会

- ①キャンプ、ウィンタースポーツ
- ②一期一会
- ③仕事柄スケジュール調整や未経験での不安がありますが、精進してまいります。



に し む ら し ゅ う
西村 慈祐

南部分区
犯罪予防部会

- ①音楽ドラマ
- ②Aún aprendo (F.Goya)
- ③よりよい地域を未来につなげられるよう、ひとつひとつ丁寧に向き合いつつ、楽しみながら頑張っていきたい。



い ま い ず み ま り
今泉 万里

南部分区
協力組織部会

- ①猫と遊ぶ
- ②実るほど頭を垂れる稲穂かな
- ③人の人生に大きく関わる責任の重さに身が引き締まる思いです。女性目線からの更生支援を心がけたいと思います。